

1 取扱い方針

- (1) 部会員から課題提起があり、部会で検討することが決定したもの
- (2) 事務局から課題提起があり、部会で検討することが決定したもの
- (3) 運営会議から部会に割り振られたもの

※(1)、(2)の場合は、課題提起シート(下記)を提出

2 課題提起から部会協議までの流れ

- (1) 部会員又は事務局から課題提起シート(課題、概要及び現状を記載したもの)が提出される。
- (2) 課題提起者と事務局が打合せを行い、内容の確認を行う。
- (3) 部会に諮り、部会で検討することについて承認を得る。
- (4) 承認後、主にワーキング活動において課題内容を検討する。
- (5) 検討経過や結果を部会で報告する。

福井市障がい者自立支援協議会専門部会 課題提起シート

記入例

専門部会名 ○○部会

課題提起者名(所属) ○○ ○○(○○○○○)

課題	<p>※「～が必要である。」という書き方にしてください。</p> <p>施設入所中の障がい者が自由に外出するための支援が不足しており、再び地域生活を送りたいと希望することに制限がある。</p>
概要及び現状	<p>【概要】</p> <p>施設入所中はそれ以外の福祉サービスの利用が原則制限されており、外出の機会を得たいと考えていても施設の都合で思うように出かけられず、地域に出かけるきっかけがなくなったり、そう思うこと自体が制限されたりする。</p> <p>【現状】</p> <p>施設に入所すると、在宅時に受けられていた福祉サービスが受けられないだけでなく、タクシーチケットなどの経済的な支援も受けられなくなる。また、施設の都合などで、外出の機会も少なくなり、外出の希望を持たなくなることや地域生活を諦めることが起こる。</p>
改善の方針	
具体的な取組内容	<p>【取組内容】</p> <p>【理由】</p>
期待される効果	<p>【効果】</p>

福井市障がい者自立支援協議会における地域課題等の検討プロセス（イメージ図）

○専門部会共通プロセス

